

# 平成19年度 近畿中国森林管理局の決算概要について

平成20年10月

## 1 概要

平成19年度については、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策に積極的に取り組むとともに、財政の健全化を図りつつ改革の着実な推進に努めた結果、収入238億5千3百万円に対し、支出は235億8千9百万円となり、収支差は+2億6千4百万円となったところである。

## 2 収支の状況

### (1) 収入

① 林産物等収入は、販売量の確保に努めたところであるが、木材市況の低迷から、前年度より1億3千万円減少

また、林野等売払代については、物件の減少・小型化、土地需要の低迷等の厳しい状況の中で、前年度より5億4千9百万円減少

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増 減
林産物等収入	1,189	1,320	△130
林野等売払代	485	1,034	△549

注) 四捨五入のため計は必ずしも一致しない(以下同じ)

② 一般会計からの受入は、地球温暖化防止等に資する森林整備事業、集中豪雨等による災害被災地等の再度災害防止事業等の補正追加を実施したことに伴い、新たに事業費財源受入れを計上したこと等から前年度より20億1千3百万円増加

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増 減
一般会計からの受入	13,921	11,909	2,013
事業施設費	4,724	3,645	1,079
森林保全経費等財源受入	2,950	3,049	△99
利 子	707	690	17
治山事業費財源受入	5,541	4,525	1,016

③ 借入金については、新規借入金はゼロ(前年度0円)

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増 減
借 入 金	7,470	6,144	1,326
新規借入金	0	0	0
借換借入金	7,470	6,144	1,326

(2) 支出

- ① 給与経費等については、職員数の減少等から、前年度より3億3千6百万円減少

(単位：百万円・人)

区 分	19年度	18年度	増 減
給与経費等	4,754	5,091	△336
職員数(期首)	484	498	△14

- ② 事業的経費については、地球温暖化防止等に資する森林整備の推進、災害防止事業の補正追加を実施したこと等から前年度より19億3千4百万円増加

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増 減
事業的経費	10,014	8,080	1,934
事業費	1,078	1,231	△152
事業施設費	4,323	3,329	995
治山事業	4,612	3,521	1,092

- ③ 元本償還の期限が到来する債務の増加等から、償還金・支払利子が前年度より11億8千9百万円増加

(単位：百万円)

区 分	19年度	18年度	増 減
償還金・支払利子	8,413	7,224	1,189
償 還 金	7,471	6,146	1,325
支 払 利 子	942	1,078	△136

3 損益計算書の要旨

間伐木原価の取扱いの変更、減価償却費の減少などにより、損益計算上の損失は前年度より12億6千7百万円減少し、17億6千9百万円(前年度は30億3千7百万円の損失)となった。

担 当：近畿中国森林管理局経理課経理係

TEL：050-3160-6703

## 近畿中国森林管理局の収支状況

(単位:百万円)

収 入				支 出			
科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差	科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差
林産物収入	1,189	1,320	△ 130	給与経費等	4,754	5,091	△ 336
林野等売払代	485	1,034	△ 549	事業費	1,078	1,231	△ 152
財産貸付料等収入	387	403	△ 16	交付金等	408	366	42
国有林野事業雑収入	68	68	0	事業施設費	4,323	3,329	995
治山事業雑収入	1	11	△ 10	償還金・支払利子	8,413	7,224	1,189
一般会計より受入	13,921	11,909	2,013	治山事業	4,612	3,521	1,092
事業施設費財源受入	4,724	3,645	1,079				
公益林等保全管理費財源受入	2,950	3,049	△ 99				
利子財源受入	707	690	17				
治山事業費財源受入	5,541	4,525	1,016				
地方公共団体工事費負担金収入	331	327	4				
前年度剰余金受入	—	45	△ 45				
借入金	7,470	6,144	1,326				
新規借入金	0	0	0				
借換借入金	7,470	6,144	1,326				
合 計	23,853	21,260	2,593	合 計	23,589	20,761	2,828

収支差	264	500	△ 235
-----	-----	-----	-------

- (注) 1. 収入は販売契約額等の額を、支出は支払義務の生じた額を計上している。  
 2. 金額はそれぞれの科目で四捨五入しているので合計金額とは必ずしも一致しない。

## 損益計算書の要旨(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

費 用				収 益			
科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差	科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差
経営費	3,886	5,739	△ 1,853	売上高	1,237	1,333	△ 96
治山事業費	5,870	4,890	980	林野等売払収入	485	1,034	△ 549
一般管理費及販売費	1,633	1,526	107	財産貸付料等収入	387	403	△ 16
減価償却費	834	1,211	△ 376	一般会計より受入	9,189	8,256	933
支払利子	658	703	△ 45	森林保全経費等 財源受入	2,950	3,049	△ 99
資産除却損	425	343	83	治山事業費財源受入	5,532	4,518	1,014
雑損	163	158	5	利子財源受入	707	690	17
				地方公共団体工事費負担金収入	331	327	4
				国有林野事業雑収入	68	68	0
				治山事業雑収入	1	11	△ 10
				前年度剰余金受入	—	45	△ 45
				雑益	1	54	△ 52
小計	13,469	14,568	△ 1,099	小計	11,700	11,532	168
本年度利益				本年度損失	1,769	3,037	△ 1,267
合計	13,469	14,568	△ 1,099	合計	13,469	14,568	△ 1,099

- (注) 1 平成19年度から、間伐木の費用計上の会計処理については、主伐木の費用計上と同様の方法から間伐収入より販売費及び製造費を控除した額を費用計上する方法に変更した。なお、当該変更に伴い、従来と同一の方法による場合と比べ、経営費は2,155百万円少なく計上されている。
- 2 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。

## 貸借対照表の要旨(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差	科 目	平成19年度	平成18年度	前年度との差
流動資産	30	42	△ 13	流動負債	13,312	9,926	3,386
現金預金等	0	0	0	未払金等	1,281	1,804	△ 523
未収金・延納金	14	17	△ 2	短期借入金	11,428	7,471	3,957
棚卸資産	15	26	△ 10	その他の負債	603	651	△ 48
固定資産	480,854	478,032	2,822	固定負債	32,461	36,419	△ 3,958
土地	28,309	28,341	△ 31	長期借入金	32,461	36,419	△ 3,958
立木竹	447,411	444,551	2,860	負債合計	45,773	46,345	△ 572
建物・工作物等	4,991	5,004	△ 12	資 本 の 部			
機械器具	52	50	2	固有資本	2,208	2,208	0
建設仮勘定	90	86	4	資本剰余金	477,983	473,250	4,732
出資金等	0	0	0	欠損・利益金	△ 1,769	△ 3,037	1,267
他局勘定	37,020	37,439	△ 419	繰越損益	—	—	—
前期末損益	6,291	3,254	3,037	本年度損益	△ 1,769	△ 3,037	1,267
資産合計	524,195	518,768	5,428	資本合計	478,422	472,422	6,000
				負債・資本合計	524,195	518,768	5,428

- (注) 1 平成19年度から、間伐木の費用計上の会計処理については、主伐木の費用計上と同様の方法から間伐収入より販売費及び製造費を控除した額を費用計上する方法に変更したことにより、従来と同一の方法による場合と比べ、立木竹の平成19年度末価格は2,170百万円多く計上され、棚卸資産の同価格は15百万円少なく計上されている。
- 2 債務残高 43,889百万円(長期借入金 32,461百万円+短期借入金 11,428百万円)(平成18年度 43,890百万円)  
 長期借入金 32,461百万円(改革円滑化長期借入金 2,326百万円+特定長期借入金 30,135百万円)
- 3 短期借入金とは、長期借入金のうち、償還期限が貸借対照表日の翌日から起算して1年以内に到来するものの額。
- 4 建物・工作物等及び機械器具の減価償却累計額 98,460百万円(平成18年度 97,782百万円)
- 5 金額は、それぞれの科目で四捨五入しているので合計額とは必ずしも一致しない。